

トムス  
ハイパー  
コンプレッサーキット  
セルシオ（UCF30）用

13600 - TUF30 / TUF32

**取り付け / 取り扱い説明書**

- ◆ お取り付け及びご使用前に必ず本書をよくお読みください。
- ◆ 本書は大切に保管し、本製品を譲渡する場合は必ず本書も譲渡してください
- ◆ 販売店殿 本商品お渡しの際、保証書およびユーザー登録ハガキに販売店印の押印、装着時走行距離および購入日を記入してください。押印および記入がない場合は保証対象外となりますのでよろしくお願ひします
- ◆ ユーザー登録ハガキは必ずご返送ください。ご返送ない場合は保証対象外となる場合があります

## 目次

【1】	ご確認ください	1
【2】	事前に準備いただくもの	1
【3】	はじめに	2
【4】	適応車種	2
【5】	<b>ご使用時の注意事項</b>	2
【6】	エンジンECUについて	2
【7】	保証について	3
【8】	構成部品表	4
【9】	構成部品図	5
【10】	取り付け	6
【11】	型紙	19

### 【1】 ご確認ください

以下の梱包箱があるかどうかご確認ください。

#### UCF30セルシオ用ハイパーコンプレッサーキット（オプションを除く）

●	コンプレッサー本体	箱ラベル品番	13600-TUF30	1/3	1箱
●	部品		13600-TUF30	2/3	1箱
●	マフラーセット		13600-TUF30	3/3	1箱

### 【2】 事前に準備いただくもの

作業を開始する前に以下のものを事前に準備してください。

注文は全国のトヨタ部品共販となります。

#### 部品

インテークマニホールドツューヘッドガスケット（トヨタ純正）	17171-50020	2個
パルセーションダンパーホースガスケット（トヨタ純正）	23232-41081	2個
パルセーションダンパーホースガスケット（トヨタ純正）	90430-12026	2個
スロットルボディガスケット（トヨタ純正）	22271-50042	1個
インジェクターOリング（トヨタ純正）	90301-07024	16個

#### 工具（必要に応じて準備する）

ユニオンナットレンチ	09023-38400
------------	-------------

## 【3】はじめに

このたびは、トムスハイパーコンプレッサーキット（セルシオUCF30用）をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品の取り付けを以下に記します。正しい取り付けをお願いいたします。本取り付け説明書は、「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等で不明な点は、整備解説書等をご参照ください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、当社技術までお問い合わせください。本製品の内容及び付属品は、改良のため予告無く変更することがございますのでご了承ください。本取り付け説明書は各車両の脱着分解図を掲載してあります。更に詳しい内容については、各車両の修理書を参照して下さい。

## 【4】適応車種

本製品は以下の車種に対応しています。（H16年2月現在）

トヨタセルシオ（UCF30）（H12年8月～H15年7月＝TUF30 H15年7月～＝TUF32） エアサス車も装着可  
レーダークルーズコントロール装着車両は別途部品が必要です

## 【5】ご使用時の注意事項

**以下の注意事項を守らない場合、エンジンの破損に伴う事故となる場合がありますので十分ご注意ください**

- 1, 本製品を装着すると、エンジンの燃焼効率が改善され、エンジンの性能が向上いたします。ブレーキの性能を確認し、十分な制動力を確保して走行してください。
- 2, エンジンの過回転（回転計の「レッドゾーン」以上の使用）はエンジン破損につながります
- 3, 装着後、エンジンチェックランプが点灯したり、エンジンに著しい異常（振動、異音、黒煙の排出等）を感じた場合はただちに使用を中止し販売店等に連絡してください
- 4, 取り付け後、数キロ走行した後に、ボルトの緩みやベルトの干渉、ガソリン、冷却水の漏れ等をチェックしてください。
- 5, **ガソリンは必ず「無鉛ハイオク」をご使用ください。レギュラーガソリンや粗悪ガソリンを使用するとノッキングをおこしエンジンが破損する場合があります。**
- 6, エンジンオイル・オートマチックトランスミッションオイルは通常よりこまめに交換してください  
**推奨交換時期 エンジンオイル5000KmごとATFオイル20,000Kmごと**
- 7, Vベルトは亀裂、ゆるみ、部品との干渉などをこまめに点検してください。

## 【6】エンジンECUについて

1. 車両に装着されている純正ECUに下記の送付用紙をコピー添付して弊社に発送してください。その際、純正ECUに装着されている**取り付けブラケットを必ず外し**お客様にて管理してください。
2. 純正ECUをTECに変更の際、弊社に純正ECU到着後、2週間程度車両が動かせなくなる旨、ご了承下さい。
3. お客様より弊社に送付される際の運賃はお客様にてご負担ください。

送付先 〒158-0082 東京都世田谷区等々力6-13-10 (株)トムス 営業部宛  
TEL03-3704-6191 / FAX03-3704-9486

TOM'S T.E.C. 送付用紙 for HYPER COMPRESSOR KIT			
お客様お名前		TEL	直送先 ( 印 必 ず 記 入 )
住所（お客様用）			
ご担当販売店名 ご担当者		TEL FAX	
住所			
共販・代理店 ご担当者		TEL FAX	
住所			

## 【 7 】 保証について

本製品について製造上の不具合が発生した場合、下記の期間と条件に従ってこれを無償修理(保証修理)いたします。保証修理は部品の交換または補修により行います(製品の返品等はお受けいたしません)。また、取り外した不具合部品は(株)トムスの所有となります。

### [ 1 ] 保証期間

➤ 保証修理の対象期間は以下の通りです

製品お買いあげ後 1 年間。但し期間内であっても装着後走行距離 2 0 . 0 0 0 Km まで

### [ 2 ] 保証の受け方

保証を受ける場合は、販売店に車両を持ち込み、保証書を提示の上保証修理をお申し付けください。原則として不具合部位を取り外し、(株)トムス宛ご返却いただき、調査後トムスにて現品を修理もしくは交換しご返却いたします。

### [ 3 ] 保証をしない事項

➤ 上記保証期間内であっても、下記の場合は保証の対象外となります

- 1, 本書に添付されている保証書に販売店押印、装着時走行距離および購入日の記載のない場合、または字句を書き換えられた場合
- 2, 保証書の提示がない場合
- 3, 使用損耗あるいは経年変化による劣化など、製造上の不具合と認められない場合
- 4, 登録後 4 年を経過した車両または走行距離が 5 0 0 0 0 Km 超えるエンジンに装着した場合
- 5, 輸送中の不具合
- 6, レース・ラリー等通常の使用状態と異なる使用方法による破損・不具合
- 7, 指定のガソリン(無鉛ハイオク)以外のガソリンおよび粗悪ガソリン等の使用による不具合
- 8, エンジンオイル・ATF オイルのメンテナンス不良に起因する不具合  
(推奨メンテナンス; エンジンオイル 5 , 0 0 0 Km ごと、ATF オイル 2 0 , 0 0 0 Km ごと交換)
- 9, 地震、台風、水害等の天災並びに事故、火災によるもの。また薬品、融雪剤、塩害、飛石等の外部要因によるもの
- 1 0, 消耗品 (V ベルト、ゴムホース類、ガスケット等) の破損・不具合
- 1 1, 本書に指示のある調整以外の調整をおこなった場合 (例、規定以上にブーストを上げた場合など)、また、純正およびトムス指定以外の吸排気系部品や電子部品の装着によるもの
- 1 2, 取り付け作業時や分解時のまちがい、不備
- 1 3, 機能上影響ない「感覚的現象」および本製品特有の現象
  - 1) コンプレッサーの過給音等 (過給時キーン音、クラッチ断続時のカチャッ音など)
  - 2) 機能上差し支えないオイルにじみ
  - 3) 本製品が主原因でない振動・ハーシュネス

### [ 4 ] 保証対象外費用

➤ 以下に示すものの費用は負担いたしません

- 1, 自動車を使用できなかったことによる不便さおよび損失等 (電話代、レンタカー代、宿泊費、休業補償、営業損失等)
- 2, 脱着工賃

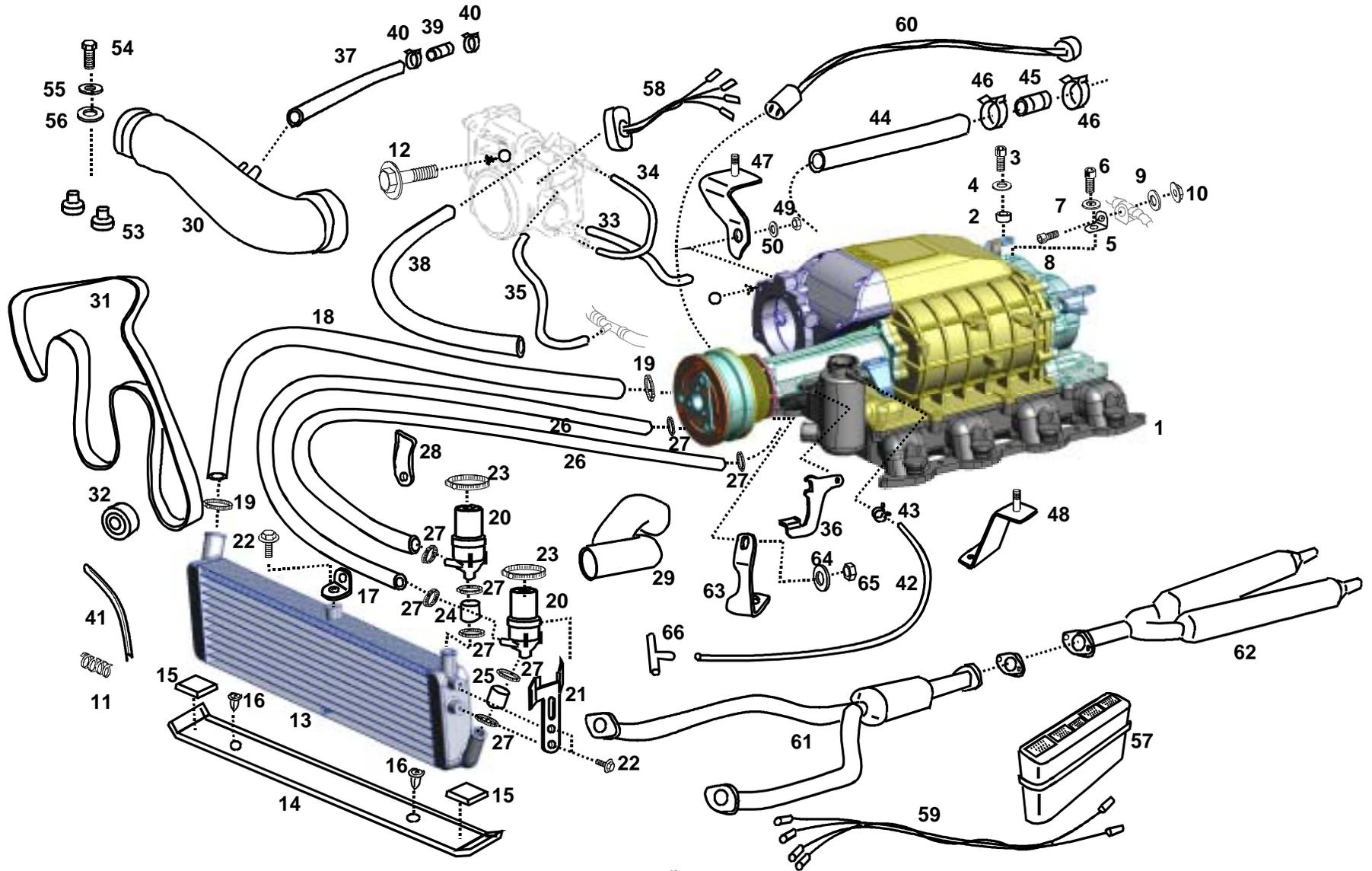
## 【 8 】 構成部品表

➤ 本品は以下のパーツで構成されています。欠品等を確認して下さい

イラスト	品名	部品品番	個数	バック番号	H15.7月以降車両	仕様
1	コンプレッサ-ASSY	13610-T3UZ0	1			
2	カラ-	13731-T3UZ0	1	「セルシオ」5		
3	ボルト M6X1.0X25	13732-T3UZ0	1	「セルシオ」5		
4	ワッシャー	13733-T3UZ0	1	「セルシオ」5		
5	ハーネスブラケット No.3	13741-T3UZ0	1	「セルシオ」5		
6	六角ボルト M6X1.0X10	13742-T3UZ0	1	5		
7	ワッシャー	13743-T3UZ0	1	5		
8	ボルト M6X1.0X14	13745-T3UZ0	1	5		
9	大径ワッシャー	13746-T3UZ0	1	「セルシオ」5		
10	ロックナット M6X1.0	13747-T3UZ0	1	5		
11	インシュレータ	13801-T3UZ0	1			
12	スロットルボディ用ボルト&ワッシャー	13694-T3UZ0	1	4		
13	インタークーラーラジエターASSY	16510-T3UZ0	1			
14	インタークーラーラジエタートレイ	16511-T3UZ0	1			
15	トレックッション	16515-T3UZ0	2			ネオフレックスボンジ 粘着シート付
16	トレックリップ	16513-T3UZ0	2	「セルシオ」3		52161-16010
17A	インタークーラーラジエターステーA	16512-T3UZ0	1	「セルシオ」3	不要	~ H15, 7車用
17B	インタークーラーラジエターステーB	16512-T3UZ1	1	別梱包	使用	H15, 7~車用
18	インタークーラーアウトレットホース	16554-T3UZ0	1			
19	アウトレットホースバンド	16572-T3UZ0	2			26-38mm
20	ウォーターポンプ	16290-T3UZ0	2			
21	ウォーターポンプステー	16291-T3UZ0	1			
22	ウォーターポンプステーボルト	16293-T3UZ0	3	3		M6 x 15 スプリングワッシャー付き
23	ウォーターポンプクランプバンド	16292-T3UZ0	2			44-56mm
24	ポンプtoラジエターホースNo.1	16551-T3UZ0	1			16 x 50mm
25	ポンプtoラジエターホースNo.2	16552-T3UZ0	1			16 x 115mm
26	インタークーラーインレットホース	16553-T3UZ0	2			内径 16 L=2000mm
27	インレットホースバンド	16573-T3UZ0	8			22-32mm
28	インタークーラーホースガイド	16554-T3UZ0	1			
29	ラジエターアッパーホース	16571-T3UZ0	1			
30	エアインレットホース	17875-T3UZ0	1			
31	Vリブベルト	16361-T3UZ0	1			
32	アイドルプーリー	16604-T3UZ0	1			
33	ウォーターバイパスホースNo.1	16261-T3UZ0	1			内径 8mm L=250mm
34	ウォーターバイパスホースNo.2	16262-T3UZ0	1			内径 8mm L=320mm
35	ウォーターバイパスホースNo.3	16263-T3UZ0	1			内径 8mm L=380mm
36	ウォーターバイパスホースガイド	16555-T3UZ0	1			
37	ブローバイホースRH	12261-T3UZ0	1			内径 14 x 150mm
38	ブローバイホースLH	12262-T3UZ0	1			内径 10 x 500mm
39	ブローバイホースパイプ	12663-T3UZ0	1	2		外径 14 50mm
40	ブローバイホースバンド	12664-T3UZ0	2	2		90467-20005
41	プロテクターモールド	16519-T3UZ0	1			
42	リザーブタンクホース	16556-T3UZ0	1			8 x 950
43	リザーブタンクホースバンド	16557-T3UZ0	1	2		96135-41300
44	ブレーキブースターホース	44773-T3UZ0	1			10 x 220mm
45	ブレーキブースターホースパイプ	44774-T3UZ0	1	「セルシオ」2		
46	ブレーキブースターホースバンド	44775-T3UZ0	2	「セルシオ」2		90467-16002
47	エンジンカバーステー-FrRH	11258-T3UZ0	1			
48	エンジンカバーステー-FrLH	11256-T3UZ0	1			
49	ロックナット M8X1.25	11257-T3UZ0	1	「セルシオ」4		M8X1.25
50	ワッシャー	11258-T3UZ0	1	「セルシオ」4		8スプリングワッシャー
53	エアクリナーボックススペーサー	17709-T3UZ0	2	「セルシオ」1	不要	
54	エアクリナーホルト	17708-T3UZ0	2	「セルシオ」1	不要	
55	エアクリナー-スプリングワッシャー	17707-T3UZ0	2	「セルシオ」1	不要	
56	エアクリナー-ヒラワッシャー	17706-T3UZ0	2	「セルシオ」1	不要	
57	エンジンECU(TEC )	89600-TUF30/31-SC	1			TUF30:M / C前、TUF31:M / C後
58	スロットルセンサーハーネス	82215-T3UZ0	1		不要	
59	ウォーターポンプハーネス	82216-T3UZ0	1			
60	マグネットクラッチハーネス	82217-T3UZ0	1			
61	フロントパイプ	17420-TUF30	1			
62	センターパイプ	17410-TUF31	1			
63	ノーズステー	13621-T3UZ0	1			
64	ワッシャー	13622-T3UZ0	1			
65	ロックナット	13623-T3UZ0	1			
66	リザーブタンクホース3ウェイ	16558-T3UZ0	1			
	取扱説明書(本書)保証書・返信はがき					1部は保存用1部は取り付け用
	Vリブベルトラベル・フェルコ-ジョンラベル		各1			

# 【 9 】 構成部品図

→ 構成部品表のイラスト番号と対応しています。





以下の説明の中で、H15, 7以前の車両（マイナーチェンジ前=以後M/C前）と以降の車両（マイナーチェンジ後=以後M/C後）で取付方法が異なる箇所があるので十分注意すること。また個々の詳細な脱着方法については修理書を参照のこと

1, エンジンECUはずし

- 1) ボルト3本をはずし、エンジンECUボックスカバーをはずす
- 2) ナット2個をはずし、コネクターをはずしてエンジンECUをはずす  
はずしたECUをトムス宛て送り、TEC2に変更する（返却までに2週間ほど必要です）詳しくは[4]「エンジンECUについて」を参照のこと

2, エンジンカバー・カバーブラケットサイドカバーはずし

3, エアクリーナーボックス・インテークパイプはずし

4, 冷却水抜き取り

5, ラジエターアップパーホースはずし

6, ヒーターホースはずし

7, ブレーキブースターホース切り離し（エンジン側をきりはなす）

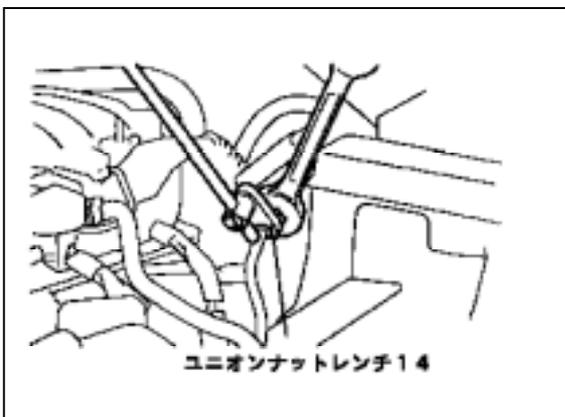
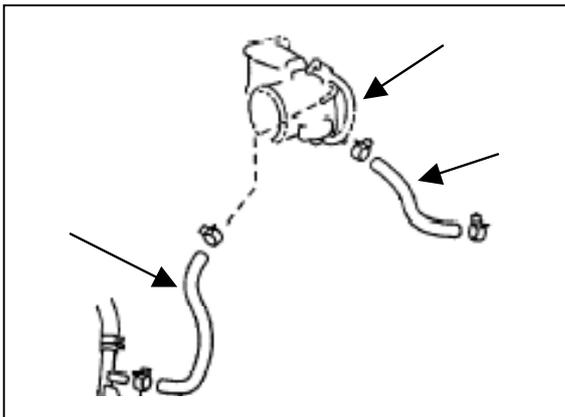
8, パワーステアリングアイドルアップホース切り離し（エンジン側をきりはなす）

9, ブローパイホースR/Lはずし

10, キャニスターホース切り離し（エンジン側をきりはなす）

11, エンジンワイヤーハーネスずらし

- 1) インジェクターコネクターをはずす
- 2) スロットルセンサーコネクターをはずす



- 3) その他エンジンワイヤーハーネスを外側にずらすために必要なコネクターをはずす

- 4) エンジンワイヤーハーネスクランプをはずし、ワイヤーハーネスをできる限りマニホールドからはなす

→ひもなどで外側に寄せて固定しておくといよい

12, スロットルボディウォーターバイパスホース3本はずし

13, スロットルボディASSYはずし

- 1) ナット2個およびボルト2本をはずし、スロットルボディをはずす

14, フエルライン切り離し

- 1) フエルタンクのキャップをはずし、フエルタンクの圧力を抜く

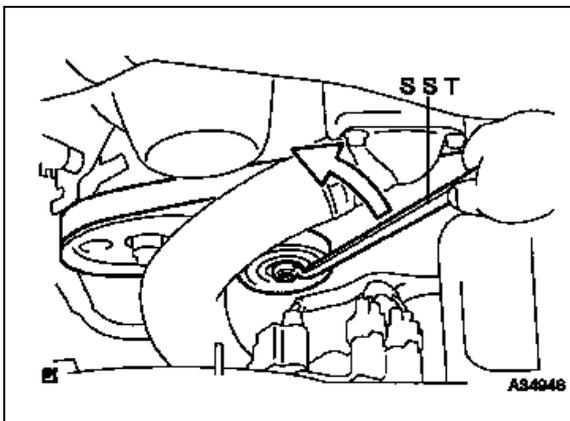
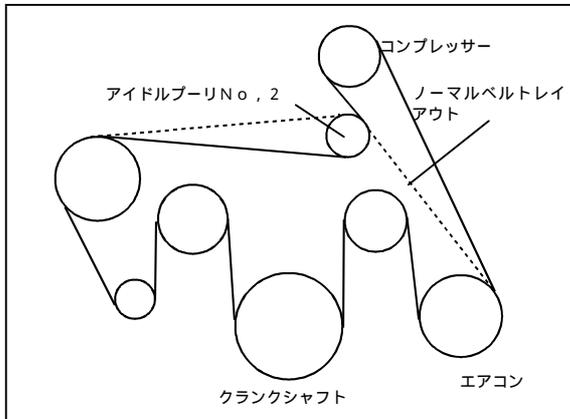
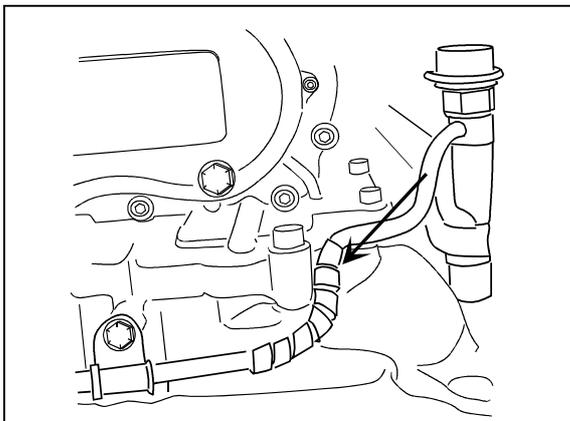
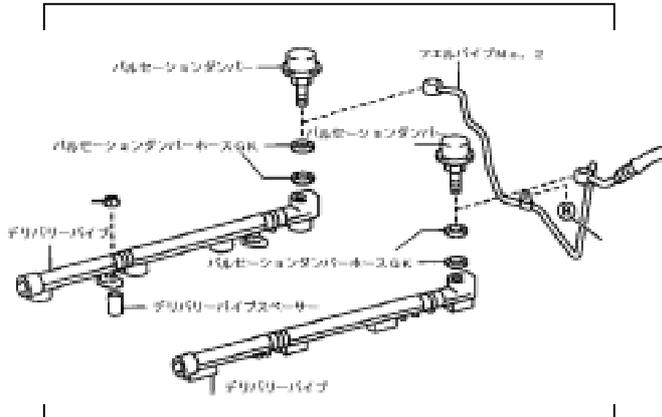
- 2) ユニオンナットレンチ14を使用してフエルメインホースを切りはなす

⇒ **フレアナットが広がっている場合ははずしにくいので注意する**

⇒ **ガソリンの流出に十分注意する**

15, インテークマニホールドASSYはずし

- 1) ボルト6本ナット4個をはずし、インテークマニホールドASSYをはずす



## [ 2 ] インジェクター , デリバリパイプ付け替え

### 1, インジェクター、パイプはずし

- 1) インテークマニホールドからデリバリパイプ、パルセーションダンパー、フェルパイプNo. 2、デリバリパイプスペーサーおよびインジェクターをはずす

→パルセーションダンパー左右をはずし、インジェクターとパイプは一体ではずすとよい

⇒ **はずす前にインジェクターが回転することを確認する**

### 2, インジェクター、パイプ取り付け

- 1) 純正デリバリパイプスペーサー 4個をコンプレッサーのスタッドボルトに取り付ける

- 2) フェルホースNo. 2とコンプレッサーが干渉する位置にインシュレーターをずらして巻き付ける

- 3) はずした手順と逆の手順で取り付ける

⇒ **パルセーションダンパー 締付トルク 39N.m(400Kgf.cm)**

⇒ **デリバリパイプ ナット 締付トルク 18N.m(185Kgf.cm)**

⇒ **パルセーションダンパーガasketは新品に交換する (90430-12026 4個)**

⇒ **インジェクターが回転することを確認する。滑らかに回転しない場合は、Oリングのかみ込みが考えられるため、インジェクターを取りはずして再度Oリング(90301-07024)を新品に取り替えて作業を行う。**

⇒ **ガソリン漏れの原因となるためフェルパイプを無理に曲げないこと**

## [ 3 ] Vベルト取り付け

### 1, アイドラプリー交換

- 1) アイドラプリーNo. 2を(32)アイドルプリーに交換する

⇒ **締付けトルク 39N.m(400Kgf.cm)**

→プリーカバー(ワッシャー)は使用しない。ボルトは再使用する

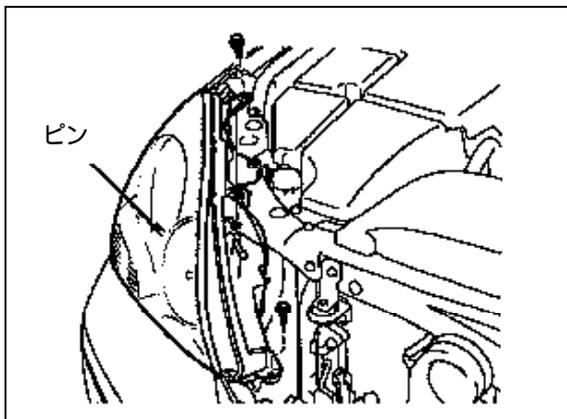
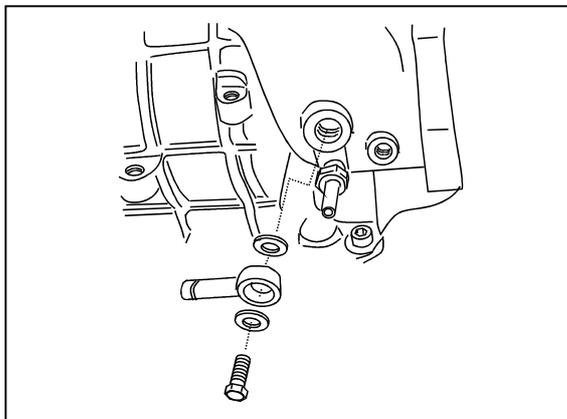
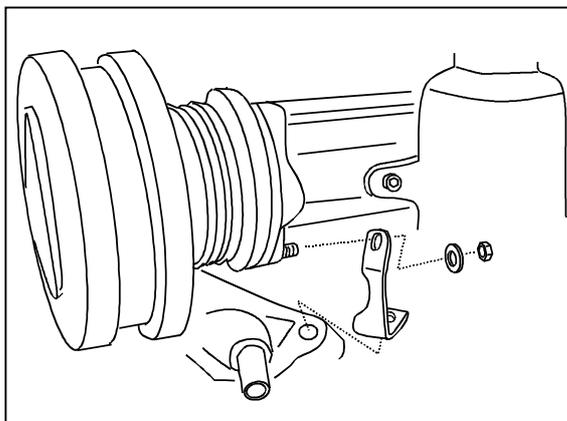
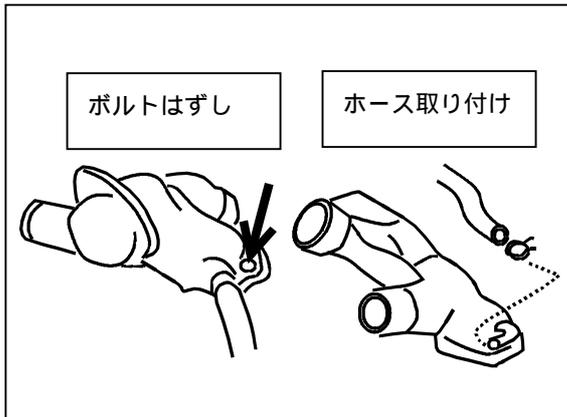
### 2, Vベルト交換

- 1) Vベルトを交換する左図の実線のように取り付ける

→テンショナーのプリーセットボルトにレンチをかけ、テンショナーを左に回転させて張力をゆるめ、ベルトを取りはずす。

⇒ **プリーセットボルトは左ねじを使用しているため右回転させるとプリーセットボルトがゆるむ。**

→ベルトは仮に取り付ける



## [ 4 ] コンプレッサー取り付け

装着前に保証書にコンプレッサー本体後面のシリアル番号 (SER,NO 後の7桁数字) を記入してください (搭載後は見にくいのため)

- 1) コンプレッサー取り付けの前に、(33)ウォーターバイパスホースNo. 1 (250mm) をウォーターバイパスジョイント側 (エンジン側) に取り付けておく (純正バンド再使用)  
→コンプレッサー装着後は作業性が悪い
- 2) ウォーターインレットハウジングのボルト1本をはずしておく (左図参照)
- 3) マニホールドガasketを交換する (純正) 17171-50020 2個

⇒ **白ペイント側を上向きにする**

- 4) はずしたインテークマニホールド用ボルト6本およびナット4個を使用してコンプレッサーを取り付ける

⇒ **コンプレッサーを垂直に均等に入れること。エンジンヘッドに確実に接地していることを確認してボルトナットを取り付ける**

⇒ **締付けトルク 18N・m(185Kgf・cm)**

⇒ **フエルラインをハーネスの間を通すこと**

- 5) 上記 2)ではずしたボルトと、(64)ワッシャー (65)ロックナットで(63)ノーズスターを取り付ける (左図参照)

⇒ **ロックナット締付けトルク 8N・m(80Kgf・cm)**

⇒ **ハウジング締付けトルク 19N・m(195Kgf・cm)**

- 6) Vベルトを取り付ける  
→テンショナーを押下げてベルトを取付ける

⇒ **プリーセットボルトは左ねじを使用しているため右回転させるとプリーセットボルトがゆるむ**

- 7) ブレーキブースターホースユニオンをマニホールドからはずしコンプレッサーに取付ける

- 8) フエルメーンホースを取り付ける

⇒ **締付けトルク 35N・m(355Kgf・cm)**

→フレアナットが広がっている場合がある。その場合フレアナットが締まりづらいため注意する

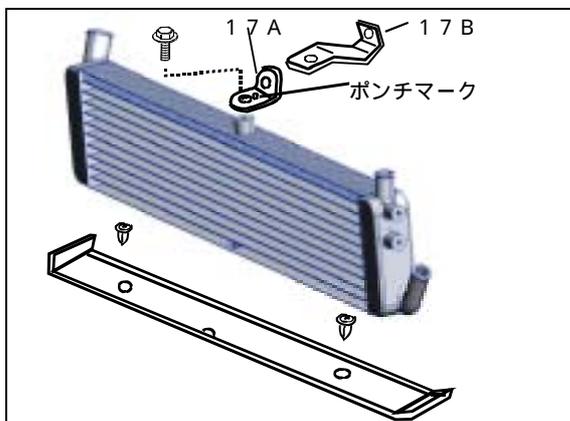
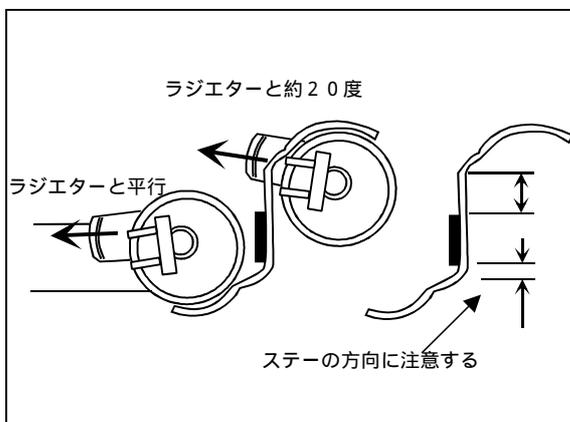
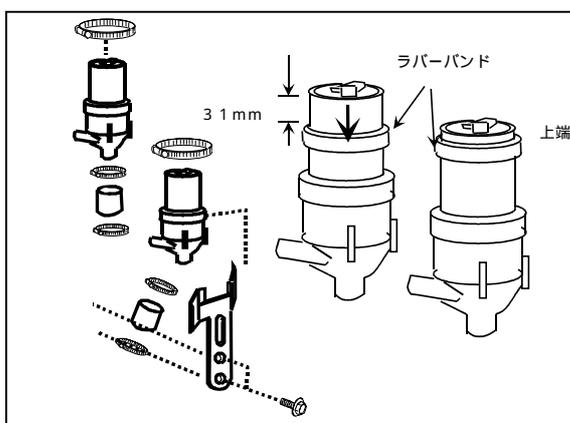
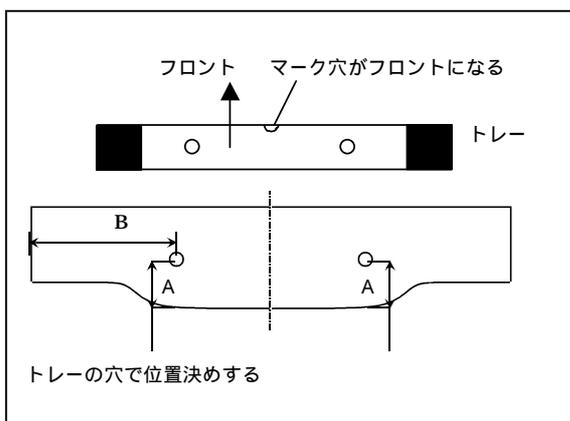
## [ 5 ] ラジエター、ウォーターポンプ、ホース取り付け

- 1, ラジエターサイドカバーRH はずし

- 1) クリップ3個をはずし、サイドカバーをはずす

2, ヘッドランプRH はずし (H15, 7以前の車両 (M/C前) のみ)

- 1) ボルト2本をはずし、ヘッドランプASSY RHを車両内側へ引いて、ピンのかん合をはずし、ヘッドランプASSYを取りはずす



3, ウォッシャータンクはずし

4, ラジエーター取り付け

- 1) ラジエーター(14)をラジエーター前方の図の位置(ウインドガイドロアパネル)に置き、穴位置をマークする(外側穴はセルシオUCF30M/C前用、内側穴はセルシオUCF30M/C後およびソアラUZZ40用)

→ A寸法は以下の通り

H 15, 7以前の車両	85mm
H 15, 7以降の車両	110mm

→ B寸法は以下の通り

H 15, 7以前の車両	192mm
H 15, 7以降の車両	215mm

2) 9mmの穴を開ける

3) トレーに(15)トレックッションを貼り付ける

4) トレーを(16)クリップで取り付ける

→ トレーのマーク穴がフロントを向く

5, ウォーターポンプ取り付け

1) (20)ウォーターポンプに(24)(25)ホースおよび、(27)インレットホースバンドを取り付ける

2) (21)ウォーターポンプステーを(22)ボルト2本でラジエーターに取り付ける

⇒ **締付けトルク 10N.m(106Kgf.cm)**

→ ステーの方向に注意する(左下図参照)

3) ウォーターポンプを(23)ウォーターポンプクランプバンドでステーに取り付ける

→ ウォーターポンプについているラバーバンドの位置をクランプバンドの位置にあわせる

→ ウォーターポンプアウトレットはラジエーター側に図のような角度で取り付ける

6, ラジエーター取り付け

1) (17)インタークーラーラジエーターステーを(22)ボルトでラジエーターに取り付ける

→ H 15, 7以前の車両は17Aのステーを使用する

→ H 15, 7以降の車両は17Bのステーを使用する

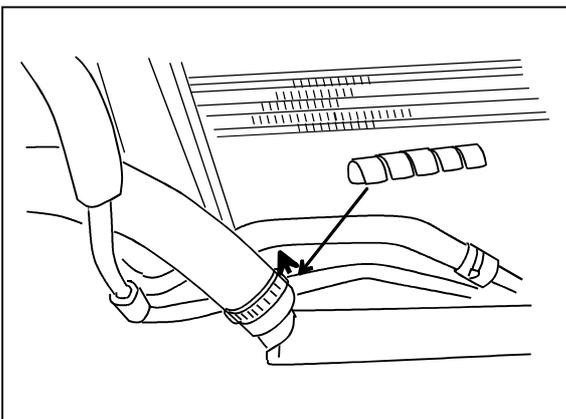
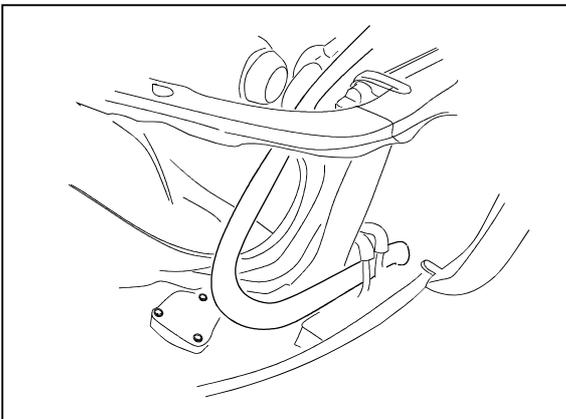
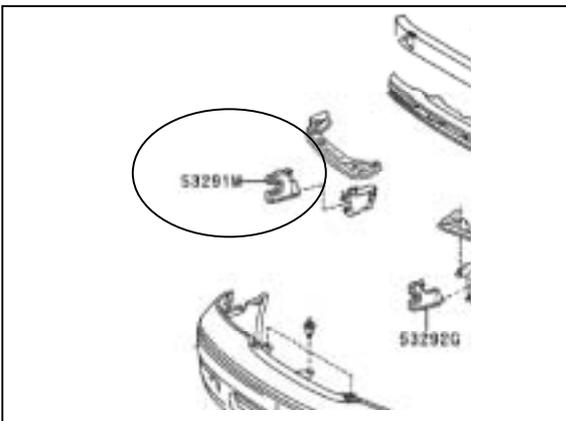
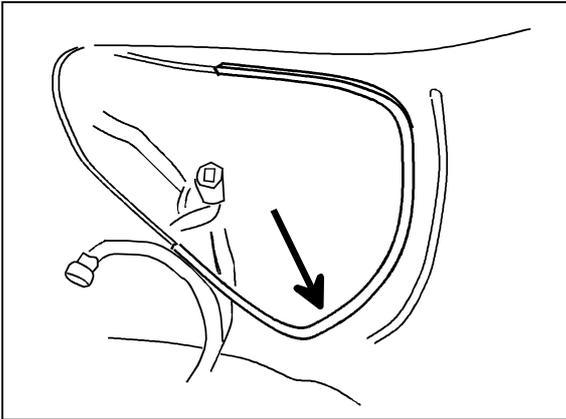
⇒ **締付けトルク 10N.m(106Kgf.cm)**

2) ラジエーターをトレーの上へのせ、ウォッシャータンク取り付けボルトで仮止めする

→ ステーAはポンチマークが上から見える方向で取り付ける

→ トレーはマーク穴が前方で取り付ける

## 7. インタークーラーホース取り付け H15, 7以前 (M/C前) の車両



1) (41)プロテクターモールをヘッドライトRHの取り外し後のボディに取り付ける (ホースとボディの干渉防止)

2) ラジエターサポートツーフレームシールRH (図中53291M)を、クリップ1個をはずしてはずす (H15, 7以前の車両のみ)

3) (18)インタークーラーアウトレットホース (太い成型ホース)を配管する

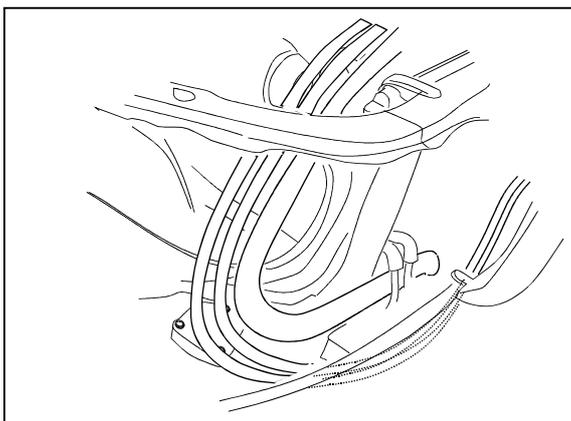
- 左図の位置にホースを通す
- エアクリーナーボックスの下側をとおり
- パワーステアリングクーラーパイプとボディの間を通す

4) (19)ホースバンドでホースをコンプレッサーのリザーブタンク下部に取り付ける

5) (19)ホースバンドでホースをラジエター側に取り付ける

6) パワーステアリングクーラーパイプが接触する場合は車両後方に少しパイプを押し曲げる (強く曲げないこと)

→パイプと近い位置に(11)インシュレーターをまく



7) (26)インタークーラーインレットホース(細いホース)を配管する

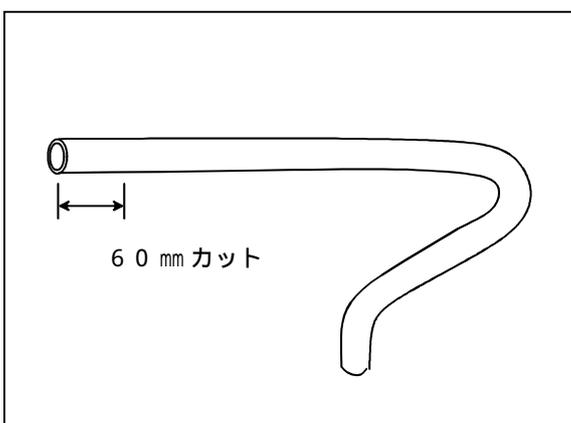
- 前記7-2)ではずした部分を通す
- エアクリナーボックスの下側をとる

8) (27)ホースバンドでホースをコンプレッサーに取り付ける

9) ホースバンド(27)でホースをウォーターポンプ2個に取り付ける

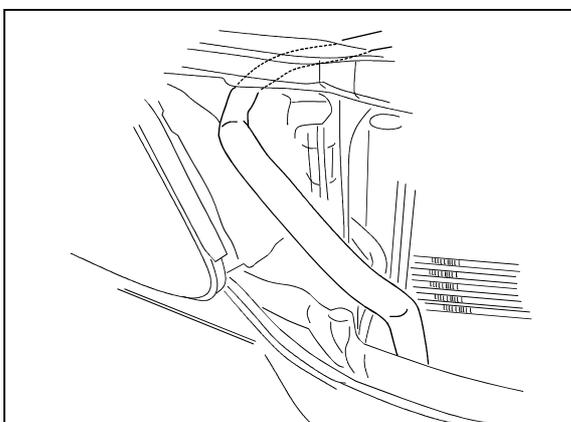
⇒ **バンドは止めずにおく(エア抜きの際ホースをあけるため)**

⇒ **ホースとボディの干渉個所に(41)プロテクションモールがとりついていること**



## 8. インタークーラーホース取り付け H15, 7以降(M/C後)の車両

1) (18)インタークーラーアウトレットホース(太い成型ホース)のコンプレッサー側(ストレートの長い方)を60 mmカットする

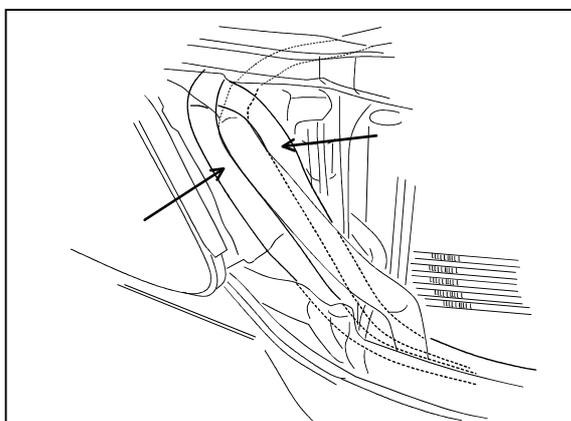


2) ホースをヘッドライトRHとボディの間を通す

- エアクリナーボックスの下側をとる

3) (19)ホースバンドでホースをコンプレッサーのリザーブタンク下部に取り付ける

4) (19)ホースバンドでホースをラジエーター側に取り付ける



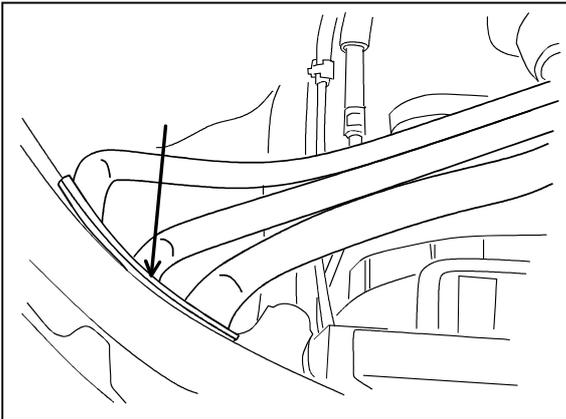
5) (26)インタークーラーインレットホース(細いホース)を配管する(アウトレットホースと同じ位置を通す)

- エアクリナーボックスの下側をとる

6) (27)ホースバンドでホースをコンプレッサーに取り付ける

7) ホースバンド(27)でホースをウォーターポンプ2個に取り付ける

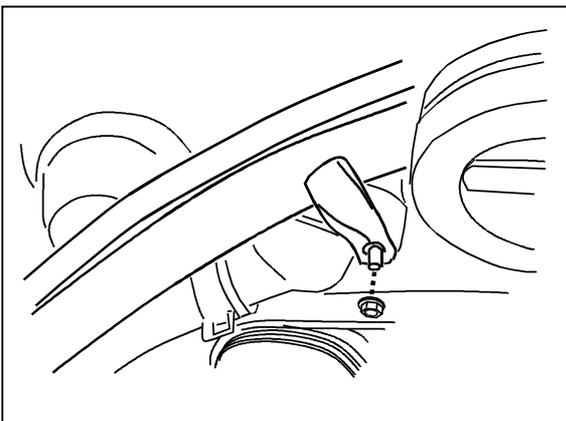
⇒ **バンドは止めずにおく(エア抜きの際ホースをあけるため)**



- 8) (41)プロテクターモールをボディ（左図矢印位置）に取り付ける（ホースとボディの干渉防止）

## 9, ウォッシャータンク取り付け(以後はM/C前後共通)

- 1) 純正ボルトを使用してウォッシャータンクを取り付ける



## 10, ホースガイド取付け

- 1) (28)インタークーラーホースガイドをサーモスタットケースボルトに共締めする

⇒ **締付けトルク 19N.m(195Kgf.cm)**

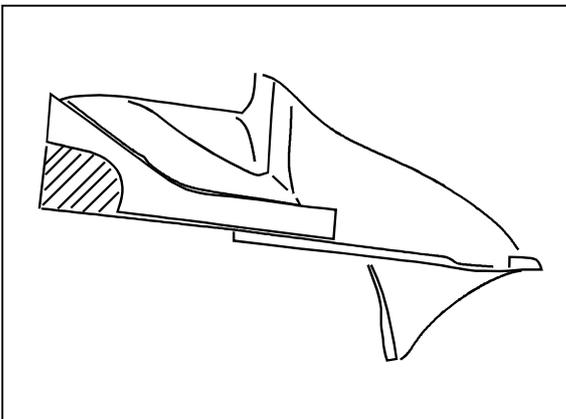
⇒ **ボディおよび部品と無理な接触がないこと**

⇒ **Vベルトとの干渉がないこと**

- 2) ウォッシャータンクを取り付ける（ラジエーターステーと共締めする）

⇒ **締付けトルク 8.5N.m(85Kgf.cm)**

- 3) (29)ラジエーターアップーホースを取り付ける（バンドは再使用する）



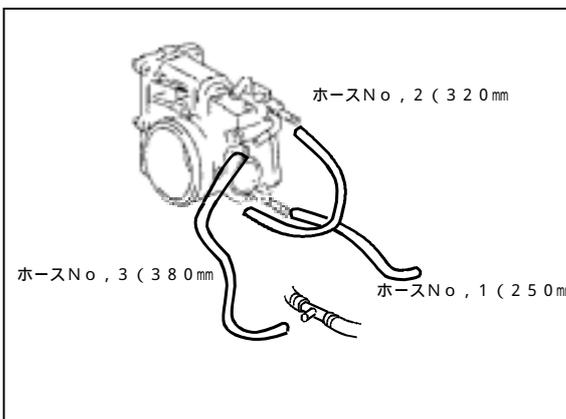
- 4) 【9】の型紙をコピーしラジエーターサイドカバーRHに貼り付け、図の部分のカットする

→マイナーチェンジ前後でカット部が異なる

- 5) クリップ3個でラジエーターサイドカバーRHを取り付ける

## 11, ウインドウォッシャータンク取り付け

- 1) 純正のボルトを使用してウォッシャータンクを取り付ける

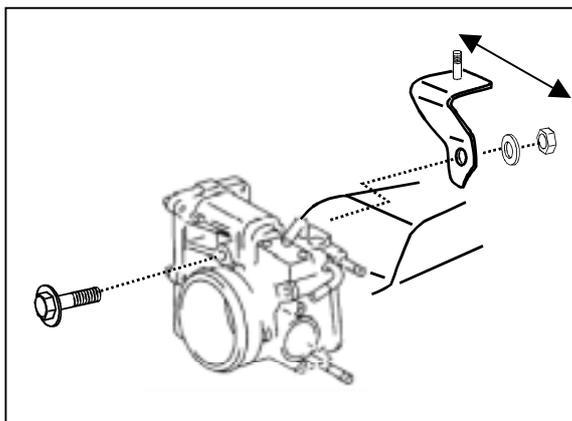


## [6] スロットルバルブ取り付け

### 1, スロットルバルブASSY取り付け

- 1) 取り付け前にスロットルバルブ下側ウォーターバイパスパイプ2個所に4-1)で取り付けた(33)バイパスホースNo. 1と、(34)バイパスホースNo. 2 (320mm)を取り付けておく

→スロットルバルブ取り付け後は作業性が悪い



- 2) はずしたボルト2本、ナット1個と、(12)ボルトでスロットルバルブをコンプレッサーに取り付ける

⇒ **締付けトルク 18N·m(185Kgf·cm)**

→ ガasketは新品を使用する 22271-50042

- 3) (12)ボルトには(47)エンジンカバーブラケットを(49)ナットと(50)ワッシャーで後ろ側に共締めする

⇒ **締付けトルク 18N·m(185Kgf·cm)**

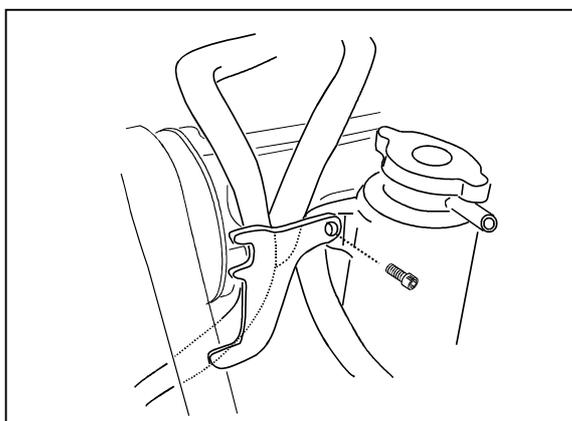
- 4) (33)(34)(35)ウォーターバイパスホースを取り付ける(バンドは純正を再使用)

→ エンジンカバー取り付けのスペンを290mmになるように位置を調整する

- 5) コンプレッサー本体のウォーターリザーブタンクの前側ボルトをはずし、(36)ウォーターバイパスガイドを共締めする

⇒ **締付けトルク 10N·m(106Kgf·cm)**

⇒ **Vベルトとの干渉がないこと**



## [ 7 ] エアクリーナーケース取り付け

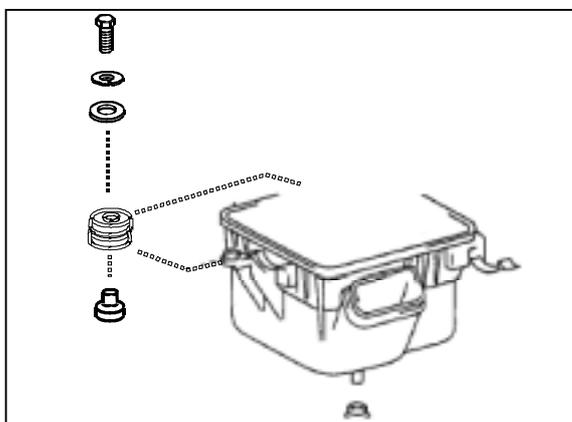
**H15, 7以前の車両**

- 1) エアクリーナーからマウントブッシュをはずし、中のカラーをはずす

- 2) (53)スペーサーをブッシュに取り付け、エアクリーナーケースを(54)ボルト(55)スプリングワッシャー(56)ワッシャーで取り付ける

⇒ **締付けトルク 5N·m(50Kgf·cm)**

→ インタークーラーホースがつぶれないように注意する(タイラップなどでまとめておくとよい)



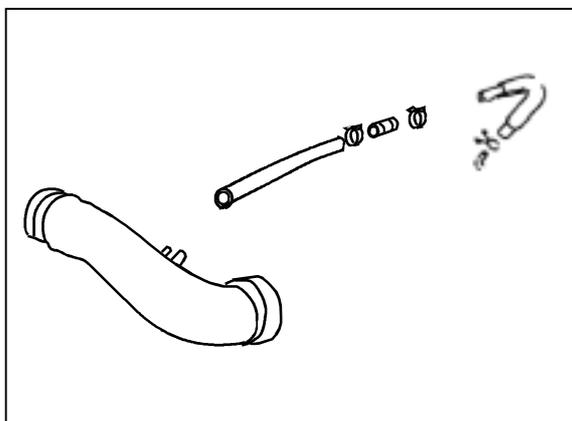
**H15, 7以降の車両は純正と同じ方法でエアクリーナーケースを取り付ける(インタークーラーホースはケースの下側を通す)**

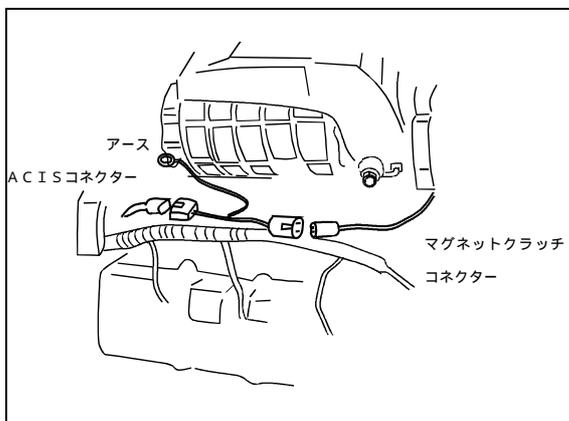
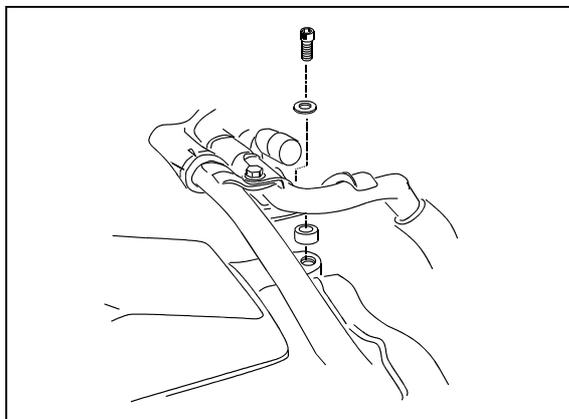
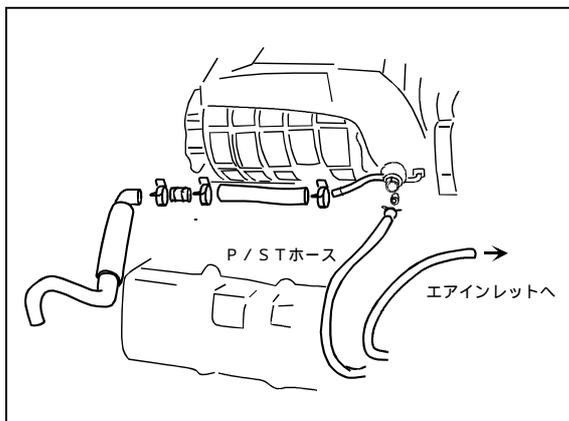
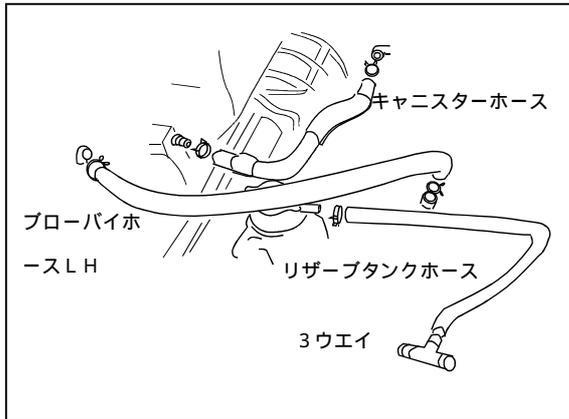
- 3) (30)エアインレットホースを標準のバンドを使用して取り付ける

## [ 8 ] ホース取り付け

- 1, ブローバイホース取り付け

- 1) 純正ブローバイホース RH を取り付け、(37)ホースと(39)パイプを(40)バンドで純正ホース及び、(30)エアインレットホースに取り付ける





2) 純正バンドを再使用して、(38)ホースをスロットルボディおよびヘッドカバーLHに取り付ける

## 2, リザーブタンクホース取り付け

- 1) (42)ホースを(43)バンドを使用して、ヘッダータンクに取り付ける
- 2) (42)ホースの反対側に(66)3ウェイを取り付ける
- 3) 純正リザーブタンクのホースを中間付近でカットし、(66)3ウェイをつなぐ

## 3, キャニスターホース取り付け

- 1) 純正キャニスターホースを純正バンドでコンプレッサーのユニオンおよびキャニスターバルブに取り付ける

⇒ **パイプ抜け止めの2段目を超えるまでホースを差し込む。バンドは2段目より奥で止める**

## 4, ブースターホース取り付け

- 1) 純正ブースターホースに、(45)パイプおよび(44)ホースを(46)バンド2個で取り付け、[ 4 ] - 5)で取り付けしたユニオンに取り付ける

## 5, パワーステアリングアイドルアップホース取り付け

- 1) マニホ - ルド側についていたホースをカットしてコンプレッサーのユニオンに取り付ける (バンドは純正を再使用)
- 2) レゾネーター側についていたホースを(30)エアインレットホースに取り付ける (バンドは純正を再使用)

## 6, ヒーターホース取り付け

- 1) ヒーターホースを復元する
- 2) ブラケットを(3)ボルト(4)ワッシャー(2)カラーを使用してコンプレッサーに取り付ける

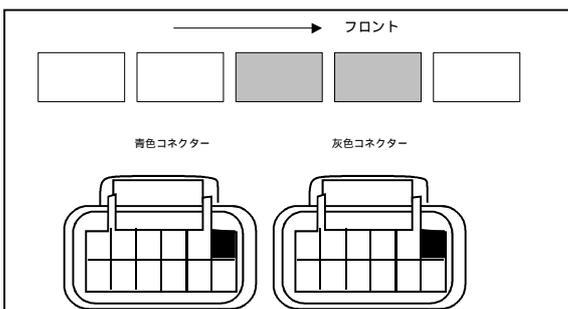
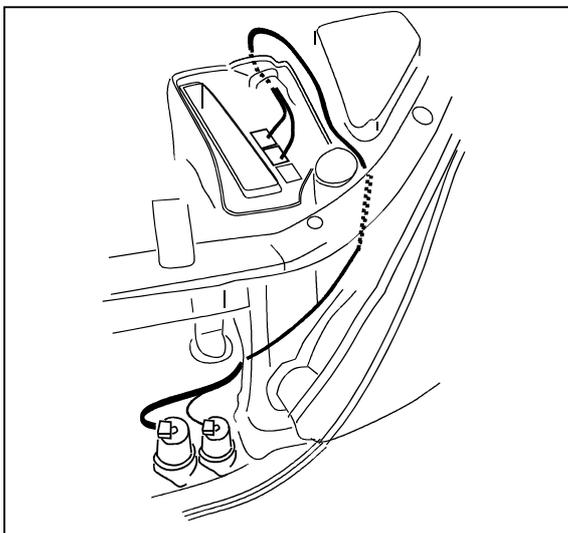
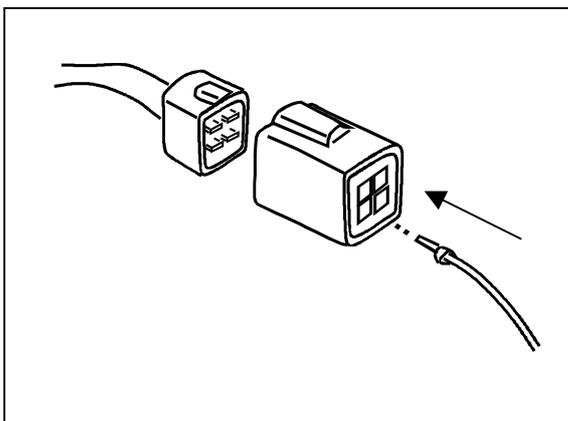
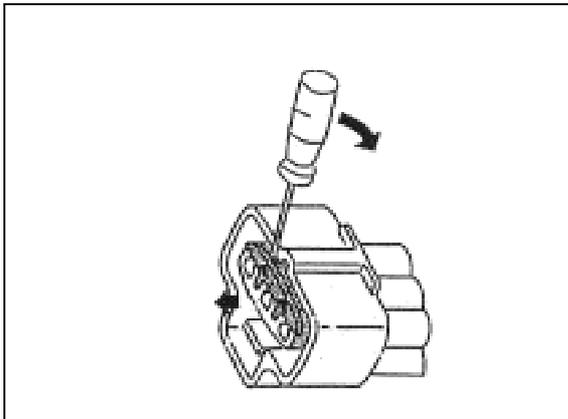
⇒ **締付けトルク 10N.m(108Kgf.cm)**

## [ 9 ] ハーネス取り付け

### 1, マグネットクラッチハーネス取り付け

- 1) (60)マグネットクラッチハーネスをACISコネクタとマグネットクラッチコネクタに取り付ける
- 2) アースを純正エンジンカバーブラケットリヤRHと共締めする ([ 9 ] - 1)作業)

⇒ **余ったハーネスはベルトなどに接触しないようテーピングする**



## 2. スロットルポジションセンサーハーネス取り付け (H15, 7以前の車両のみ)

H15, 7月以降の車両は標準の通り復元する

- 1) スロットルポジションセンサーの純正コネクタハウジングからターミナルを抜き取る  
→黄色部分のロックを精密ドライバー等で手前に引き出した後、ターミナルのロックをはずしてターミナルを抜く

- 2) はずしたターミナルを付属のコネクタハウジングに以下のワイヤー色どおり取り付ける  
→左図の矢印側から見る  
→白色のロックを手前に引き出してから入れる

⇒ **接触不良に十分注意する**

1	2
3	4

	延長ハーネス側 ワイヤー色	シャシーハーネス 側ワイヤー色
1	むらさき	青 赤
2	黄	黄
3	ピンク	青黒または黒
4	茶	茶

⇒ **配線を間違えないように十分注意する**

- 3) コネクタを接続する

⇒ **余ったハーネスはベルトなどに接触しないようテーピングする**

## 3. ウォーターポンプハーネス取り付け

- 1) クリップ3個をはずし、ラジエターサイドカバーLHをはずす
- 2) ポンプ2個にハーネスを取り付ける

⇒ **コネクタをシール剤などで防水処理する**

- 3) ヘッドランプ横のすき間からハーネスをエンジンルーム内へ引き込む
- 4) エンジンコントロールECUのボックスカバーをはずす
- 5) ダストブーツに小穴を開け、ウォーターポンプハーネスのワイヤー2本をECUボックス内に引き込む
- 6) エンジンECUボックス内の左図の個所にターミナルを差し込む

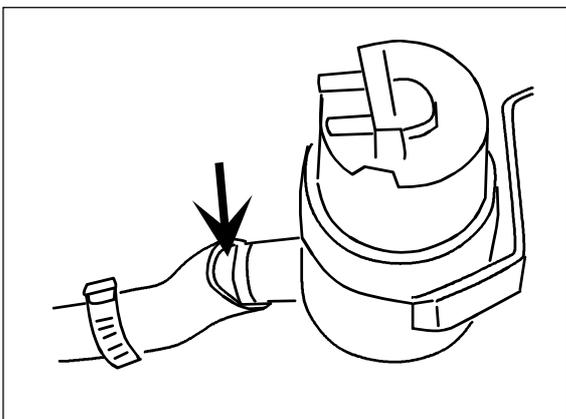
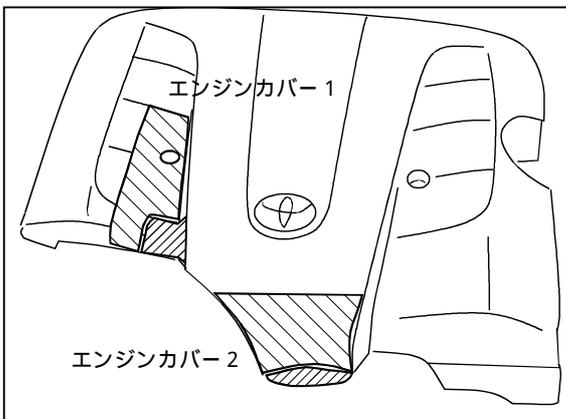
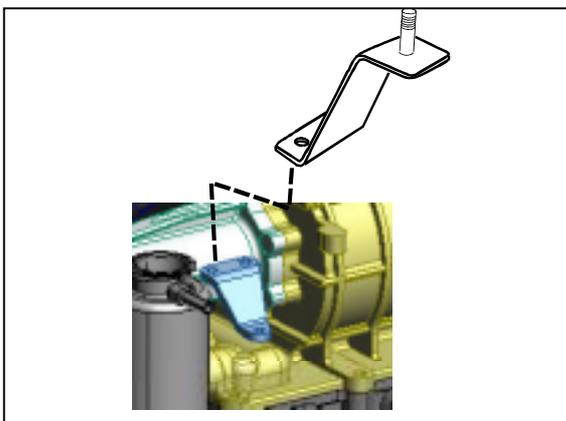
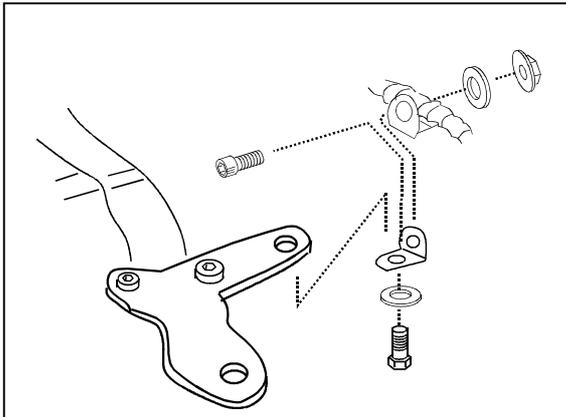
→図は

⇒ **灰色コネクタ 赤リード線**

⇒ **青色コネクタ 黒リード線**

⇒ **プラスマイナスを間違えないように注意する**

- 7) ラジエターサイドカバーLHを取り付ける



#### 4. 純正ハーネス復元

- 1) インジェクターハーネスその他はずしたハーネスを取り付ける
- 2) 各ハーネスブラケットをコンプレッサーのステーに取り付ける

⇒ **締付けトルク 7.5N.m(80Kgf.cm)**

- 3) (5)ハーネスブラケットNo.3を(6)ボルト(7)ワッシャーでコンプレッサーの図の位置に取り付ける

⇒ **締付けトルク 10N.m(106Kgf.cm)**

- 4) バッテリープラスハーネスのブラケットを(5)ハーネスブラケットに(8)ボルト(9)ワッシャー(10)ナットで取り付ける

⇒ **締付けトルク 10N.m(106Kgf.cm)**

#### [ 1 0 ] エンジンカバーブラケット取り付け

- 1) 純正エンジンカバーブラケットリヤ左右を純正と同じ位置に取り付ける（ボルト再使用）

⇒ **締付けトルク 7.5N.m(80Kgf.cm)**

- 2) (48)エンジンカバーブラケットをコンプレッサーの図のステーボルトをはずし共締めする

⇒ **締付けトルク 10N.m(106Kgf.cm)**

#### [ 1 1 ] 純正エンジンカバー加工

純正のエンジンカバーを使用する場合は以下の加工をして取り付ける

ただし、ボンネットサイレンサーと干渉するため必要に応じてインシュレーターを一部カットするとよい

- 1) 【 9 】の型紙をコピーし、エンジンカバーにあてがい、必要部分をカットする

#### [ 1 2 ] エンジン E C U 取り付け

- 1) T E C を取り付ける

#### [ 1 3 ] フロントパイプ、センターパイプ交換

- 1) 別途部品に同梱の取り付け説明書を参考にしてフロントパイプ、センターパイプを交換する

#### [ 1 4 ] インタークーラーウォーター注入

- 1) ヘッダータンクから冷却水（L L C 5 0 %）を入れる

- 2) ウォーターポンプ側のアウトレットホースの上側を少しはずしてエアを抜きホースを戻す

⇒ **冷却水が出てきてエアがない状態まで冷却水を流す**

⇒ **ポンプ 2 個ともエア抜きする（片側ずつエア抜**

**きすること)**

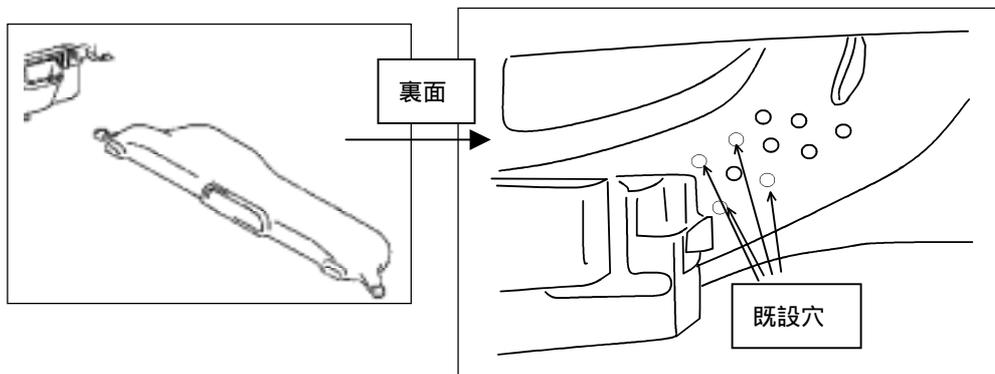
- ⇒ この位置にエアが残るとポンプの「カラ打ち」が発生し、ポンプが異音の発生やヒートしたり水が回らない場合があるため十分エアを抜く
- 3) イグニッションをONにして、ウォーターポンプが回転していることを確認する
- ⇒ **音および感触で確認する**
- 4) ウォーターポンプのコネクターを片側ずつ取り付け、それぞれでエア抜きをする
- ⇒ **ヘッダータンクの泡が完全になくなるまで片側ずつエア抜きをする**
- ⇒ **タンクの冷却水が動いていることを確認する**
- 5) ヘッダータンクいっぱいまで補充する
- ⇒ **キャップテスターを使用して冷却水の漏れを点検する(満水にした状態で 137kPa (1.4 K g/cm<sup>2</sup>) の圧力をかける)**

**[ 15 ] 冷却水注入**

- 1) エンジン冷却水を入れ、エア抜きをする

**[ 16 ] 純正エアインレットNo, 1加工**

- 1) 純正エアインレットNo, 1の、図の位置の穴を追加する(吸入空気量の増加の目的)
  - 1.3mmのキリで6個追加穴あけをする(表側に貫通しないよう注意する)



**[ 17 ] 燃料コーションラベル・ベルトコーションラベル貼り付け**

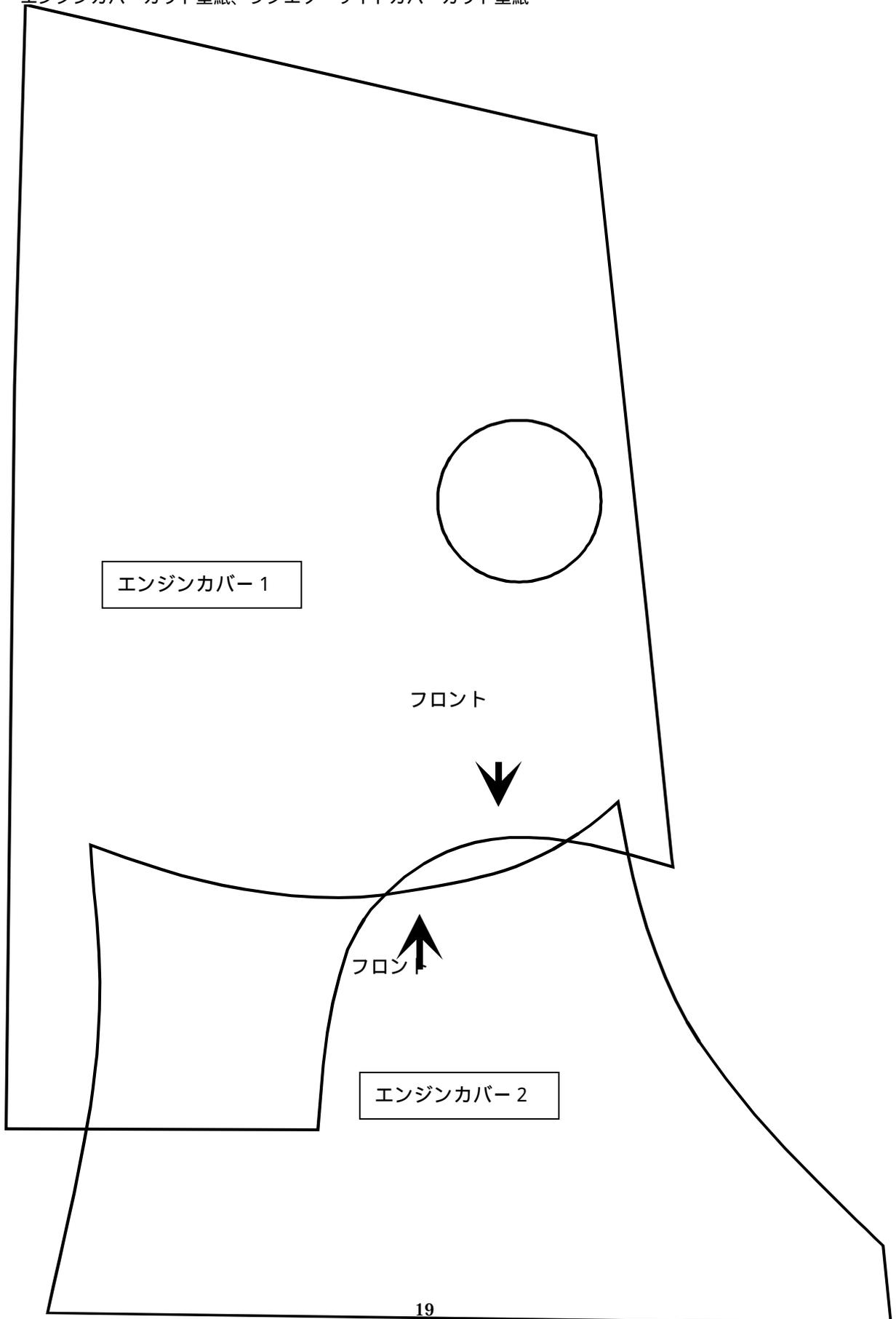
- 1) 燃料コーションラベルをフューエルフィルターオープングリッド(給油口リッド裏面)に貼り付ける
- ⇒ **レギュラーガソリンを入れた場合はエンジンが破損する可能性が高いため、必ず貼り付けること**
- 2) ベルトコーションラベルを純正ベルトラベルの上に貼り付ける

**[ 18 ] 各部確認**

- 1) エンジンを始動して、アイドルリングし、ベルトの干渉がないか確認する
- ⇒ **特にエンジン始動時や、レーシング時にベルトの干渉がないか確認する**
- 2) アイドルリングが安定しない場合は、エンジンECUの学習値が安定するまで、アイドル放置および走行する
- 3) コンプレッサーの過給は走行時の音(約2000rpmぐらいからキーン音)で確認する
  - レーシングで過給はしない
  - 冷間時は過給しない
- 4) 走行後ガソリン、冷却水の漏れ等を点検する

【 1 1 】 型紙

エンジンカバーカット型紙、ラジエターサイドカバーカット型紙



ラジエターサイド  
カバー(M/C前車)

ラジエターサイド  
カバー(M/C後車)

【発売元】株式会社 トムス  
東京都世田谷区等々力6-13-10  
TEL 03-3704-6191

Ver, 4.1 2005/09/30 発行